

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	医学概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	高山 良子	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》					
教科書に沿って授業を行う。教科書は疾患についての記載が多く、精神保健福祉士として必要な医学知識を学ぶ。その他には、人体の成長と老化、解剖生理学、障害やリハビリテーションの基礎を学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
科目終了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座 1「医学概論」					
《授業外における学習方法》					
<ul style="list-style-type: none"> ・関心のあるテーマについて、文献や参考書を使って学習する。 ・授業内容の復習をする。 					
《履修に当たっての留意点》					
<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語をしっかりと覚えましょう。 ・他科目と重複する内容は、まとめて整理しておく。 					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	教科書巻頭に記載されている「刊行にあたって」、「はじめに」を読み、ポイントを整理して説明できる。	教科書	教科書指定部分について質疑応答や質問をする。
		各コマにおける授業予定	「刊行にあたって」、「はじめに」に書かれている現代社会の医療、精神保健福祉士、ソーシャルワーカーなどについて説明する。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ライフステージにおける心身の特徴、心身の加齢・老化について説明できる。	教科書 第1章	教科書指定部分を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ライフステージにおける心身の特徴、心身の加齢・老化、健康問題についての講義。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康の定義、国際生活機能分類(ICF)について説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ICFに関する資料配布 	ICFは他科目にも記載されているので、配布資料や他文献にも目を通す。
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の定義、疾病・死因・統計についての講義。 ・国際生活機能分類(ICF)について説明をする。 		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体構造について説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・解剖プリント配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書指定部分の復習をする。 ・図を使って人体の構造を覚える。
		各コマにおける授業予定	人体を構成する器官系と臓器系の名称を図を使って説明する。		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	器官系と臓器の役割について説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・参考資料配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の復習をする。 ・まとめテスト施行
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・解剖生理学の基本についての講義。 ・神経について重点的に説明する。 		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	疾病と障害の成り立ちと回復過程について説明できる。	・教科書 ・参考資料配布	・教科書指定部分を事前に読んでおく。 ・授業内容の復習をする。
		各コマにおける授業予定	・疾病の発生、病変の成立機序についての講義。 ・炎症、虚血などの生体反応、免疫反応についての講義。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの概要について説明できる。	教科書	教科書指定部分を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの定義、目的、対象、方法についての講義。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症、神経疾患、認知症について説明できる。	・教科書 ・認知症に関する資料配布	教科書指定部分を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・感染症の概要を説明する。 ・4大認知症の特徴についての講義。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管疾患、心疾患、糖尿病について説明できる。	・教科書 ・参考資料配布	教科書指定部分を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・脳血管疾患の種類と特徴について説明する。 ・狭心症、心筋梗塞について説明する。 ・糖尿病の特徴について説明する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器疾患、消化器疾患、骨・関節疾患について説明できる。	教科書	教科書指定部分を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	代表的疾患について概念、症状、検査、治療についての講義。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神疾患、精神障害、発達障害について説明できる。	・教科書 ・参考資料配布	教科書指定部分を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・精神疾患についての講義。 ・発達障害について説明する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児疾患、高齢者に多い疾患について説明できる。	教科書	教科書指定部分を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・代表的小児科疾患についての講義。 ・高齢者に特有な症状、状態、疾患についての講義。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣病、悪性腫瘍と緩和ケアについて説明できる。	教科書	教科書指定部分を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・生活習慣病の概要を説明する。 ・悪性腫瘍と緩和ケアについての講義。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	WHOの活動、保健医療対策について説明できる。	・教科書 ・WHOに関する資料、保健医療対策に関する資料配布	・教科書指定部分を事前に読んでおく。 ・配布資料の復習をする。
		各コマにおける授業予定	・公衆衛生の対象についての講義。 ・母子保健、高齢者保健、感染症、精神保健、難病などの保健医療対策についての講義。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学概論について整理して要点を説明できる。	・教科書	医学概論の到達度を確認する。
		各コマにおける授業予定	後期試験を施行し、知識の整理を行う。		